

Masahide Nobuaki Honma Brothers

We introduce this unique combination of exhibition featuring one of the largest collections

本間

正英
信昭

兄弟展

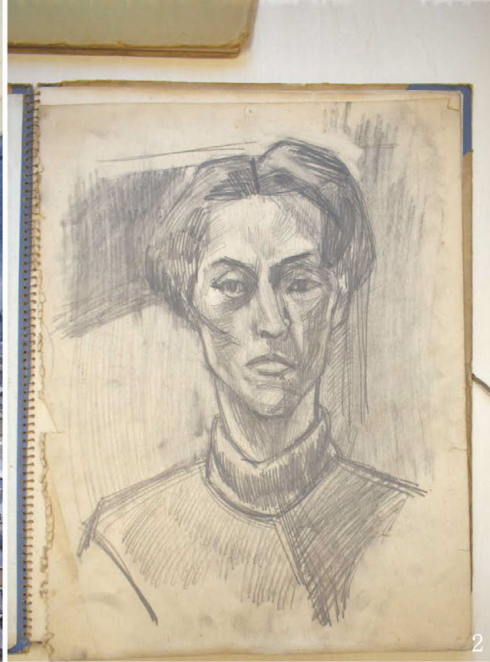
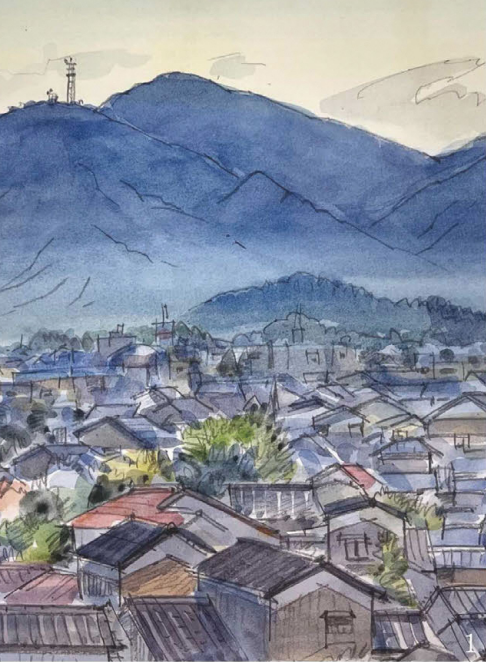


2024 10.12(土) ▶ 12.25(水)

in Niigata from Nobuaki's Guatemala costumes & Masahide Japanese painting works.

日本画と
グアテマラ民族の歴史が織り成す
美しい空間へあなたを誘います





1. 中条の町並み(水彩画)/本間正英 2. 自画像(デッサン)/本間正英
3. グアテマラウィピール(女性上衣)/本間信昭コレクション 4. グアテマラ刺繍/本間信昭コレクション

絵を見る楽しみ 絵を描く楽しみ

胎内市出身で新潟を代表する「院展」作家の兄正英は「日本画」を。弟信昭は「グアテマラ織り」の文化を生涯愉しんできました。教職をまっとうされた兄弟はお互い遠い異国の文化に魅了され、それぞれが別の人生を歩んできたように見えますが、二人の根底にある想いは同じものであったことに気付きます。本展では、氏が残してくれた作品群の中から「絵を描く楽しみ」を語りかけてくれるような日本画を未公開作品を中心に紹介いたします。過去の企画展とは一味違った水彩画、デッサンと共に氏が集めてこられた書籍などを通して、これまで知られていなかった正英氏の一面と、彼がどれ程絵のある人生を楽しんで来たのかを感じられる展示となっております。

一方、弟信昭氏が現地で日本語や日本文化をグアテマラの人々に教える傍ら人々の生活スタイルに魅了され、「記念に一枚」と、私財をなげうってグアテマラ国中から様々な品々を収集したそう。新潟では普段目にするこの少ない民族衣装や工芸技術、あるいは遠い異国の文化を、県内最大規模を誇るこの「本間信昭コレクション」を通して広くご紹介します。遥か離れた日本の弥生時代と共通する古代の織物技術、そして美しい模様を多くの方々之間近でご覧いただける展示構成となっております。

日本画と民族の歴史が織りなす美しい空間に足を踏み入れると、兄弟が生涯楽しんだ世界が広がっています。



関連イベント

- 開場式・作品解説会 10月12日(土) 10:00~12:00
- 講演会「グアテマラの文化と民族衣装」 10月20日(日) 14:00~15:30
講師：(公財)新潟県埋蔵文化財調査事業団 佐藤友子氏
- 板額御前講演会
11月9日(土) 10:00~12:00
講師：島政大氏 小説『女武将板額』作者
板額御前の波乱に満ちた半生を描いた小説『女武将板額』の作者、島政大氏にご講演いただきます。



美術館ワークショップ

- 日本画体験教室 10月26日(土) 13:30~15:30 参加費1,000円(写真右1)
- グアテマラモザイクランプシェードづくり
11月3日(日・祝) スタート10:00~/13:30~(各回10名・先着順) 参加費500円(写真右2)
- 手づくりハンコで年賀状をつくらう
12月14日(土)・15日(日) 10:00~11:30/13:30~15:00 参加費100円(写真右3)

市民ギャラリー・談話室

- kana写真展-胎内市の伝統芸能- 10月12日(土)~11月10日(日)(写真右4)
- 版美会作品展~十人十色を楽しむ木版画~ 11月16日(土)~11月30日(土)(写真右5)
- 胎内市陶芸講座作品展 12月8日(日)~12月22日(日)(写真右6)

併催：地域の歴史紹介「城の山古墳・板額御前」

日本海側最北の大型前期古墳「城の山古墳」の出土品やパネル展示、また、胎内市の偉人である女傑「板額御前」の魅力を紹介いたします。



TAINAI ART MUSEUM 胎内市美術館

新潟県胎内市下赤谷387-15(道の駅胎内エリア)
TEL 0254-47-2288 FAX 0254-47-2281
電 車: JR羽越線中条駅よりタクシーで10分
自動車: 日本海東北自動車道中条ICより車で15分

【開館時間】9:30~17:00

【休館日】月曜日

【観覧料】大人300円・小中学生150円

障がい者手帳などをお持ちの方は入館料半額MIRAIRO IDご利用いただけます

